



2024

中長期計画

計画見直し 2024年 3月

後期5カ年計画

2024～2028

公益社団法人
仲善広域シルバー人材センター



目 次

はじめに

I	中長期計画後期 5 ヶ年計画策定の背景と目的	1
	後期 5 ヶ年計画策定の背景	
	計画策定の目的	
	計画の目標期間	
II	シルバー人材センターの現状と課題	
	1. シルバー人材センター事業の現状	
	(1) 会員の状況	2
	(2) 事業実績	2－3
	(3) 独自事業	3
	(4) 会員交流のための同好会活動	3
	(5) 「かがわ地方創生 SDG s」登録取組状況	3
	(6) 事故発生の状況	3－4
	2. シルバー人材センター事業の課題と実施計画	
	(1) 会員の確保・拡大	5
	(2) 就業機会の確保	6－7
	(3) 安全・適正就業の確保	8
	(4) 普及啓発の推進	9
	(5) 高齢者支援事業の推進（SDGs の取組）	10
	(6) 事務局体制の充実・強化	11
	3. 今、わたしたちにできること（SDGs の目標）	12
IV	参考資料	
	仲善広域各市町総人口推移	14
	仲善広域各市町 60 歳・65 歳以上人口比推移	15
	仲善広域各市町 60 歳以上地区別 5 歳ごと人口推移	16
	（国立社会保障・人口問題研究所令和 5 年（2023）推計）	
	仲善広域地区別会員数推移（男女別）	
	（平成 21 年度～令和 4 年度・令和 7 年度目標値）	17－18
	仲善広域年度別入退会者推移（男女別）	
	（平成 21 年度～令和 4 年度）	19
	年度別事業実績推移	20
	事故発生状況	21

はじめに

公益社団法人仲善広域シルバー人材センターは、平成 31 年 3 月に策定された「中長期基本計画」に沿って、令和 10 年までの事業展開を行っております。

計画策定直後の令和 2 年からの新型コロナウイルスの影響により、3 年間の長きにわたり、世界経済の停滞とコロナ禍での行動制限を経験することとなりました。

令和 5 年に入り、新薬の開発とワクチンの接種により、重篤な罹患患者の減少による行動制限の緩和と、経済活動の回復に向けて動き始めています。

2025 年の広域の 60 歳以上の高齢者人口が 22.4 千人を超えるとともに、2050 年の広域人口が、37.8 千人、60 歳以上人口 17.6 千人と、人口比率 46.7%の超高齢化時代が予想されています。

今後、60 歳を超えても継続して仕事を続ける人が増え、今までのような社会全体から受ける高齢者への疎外感が希薄になり、人口比 50%近くを占めるようになった今、「生きがい」について個別の価値観が生まれ、ライフスタイルも多様化を求めるようになり、就業への関心が大きく変化しています。

こうした状況のもと、仲善広域シルバー人材センターでは、それぞれの会員が求める価値観に合わせられるような職業訓練や、サークル活動、趣味・教養講座などの「居場所づくり」を新たに取り組んでいます。

本来のシルバー事業である高齢者雇用の確保は、長年培われた経験と知識を地域に貢献しようとするものでしたが、デジタル化の普及により、情報リテラシーの充実を図り、個々の会員が楽しく働ける「臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務」を通じて、地域とのつながりを求めています。

平成 31 年 3 月に、仲善広域シルバー人材センターとしての事業拡大と会員拡大、それに伴う安全就業指針など就業環境の見直しを目途に独自に計画を策定しておりました。

今回見直しいたしました中長期計画は、アフターコロナを迎えた「新しい生活様式」に沿った環境の変化に即して、大きく見直しをおこないました。

この後期計画策定にあたり、半年間ご協議いただきました各委員会委員、役員の皆様のご協力に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、関係各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます次第です。

令和6年3月

公益社団法人 仲善広域シルバー人材センター

理事長 辻 村 修

中長期計画後期 5 ヶ年計画策定の背景と目的

後期 5 ヶ年計画策定の背景

平成 31 年 3 月策定の中長期計画策定直後、全国的にまん延した新型コロナ感染症により、新しい生活様式への転換を余儀なくされる事態となりました。

3 年もの長い間、コロナ禍で大きな影響を受けた観光産業をはじめ、地元経済の回復や人材確保に資するシルバー事業の役割も大きく変化することが予想されます。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別推計人口」の令和 2 年度国勢調査による将来推計によりますと、60 歳以上人口比の推移は、令和 2 年には善通寺市 36.4%、まんのう町 45.7%、琴平町 47.5%と人口に占める高齢者人口の比率は高い状況にあります。

令和 32 年の将来予測では、高齢化率が最も高い琴平町で 56.8%に達するものと見込まれています。

総じて、仲善広域シルバー人材センター広域においては、人口は減少し、高齢化率は 1 市 2 町ともに全国平均を大きく上回り、急速に高齢化が進んでいます。

更には、令和 2 年を 100 として、人口減少率は令和 12 年で善通寺市 88.2%、まんのう町 85.8%、琴平町 83.3%と人口減少も確実に進んでくると推測されています。

全国的な取り組みである平成 30 年度からの「第 2 次会員 100 万人達成計画」は、コロナ禍で急激に減少した会員目標を令和元年度会員数に戻すことを目標とするなど、新型コロナ感染症拡大による影響は大きなものとなりました。

10 年を目途に独自に地域性を生かした「中長期基本計画」を、コロナ明けの後期 5 ヶ年に新たな目標を掲げ、前半 5 ヶ年の目標未達成の分析と評価を行い、新しい生活様式の変化に沿った高齢者雇用、それに伴う就業環境の見直しを進めていくこととなりました。

計画策定の目的

当センターでは、令和元年度決算をピークに、コロナ禍の影響により、請負契約額、会員数の大きな減少を経験することになりました。

定年年齢の延長、60 歳年齢の再雇用制度の普及により、会員確保や就業機会の開拓が、より厳しい状況になっていることに加え、新しい生活様式の変化や健康な高齢者の受け皿づくりが、3 年間のコロナ禍により、全県的に停滞しています。

高齢者と言われる年齢層のうち、団塊の世代と言われる 75 歳以上人口が令和 7 年をピークに減少傾向にあることから、シルバー運営でもお仕事の斡旋だけではなく、生きがいづくりや、地域社会への貢献を図るため、新たな計画を策定することにより、仲善広域シルバー人材センター構成の自治体と連携し、事業拡充と機能強化を目的としています。

計画の目標期間

後期実施計画は、令和 6 年度から長期計画終了の令和 10 年度までの 5 ヶ年とします。

シルバー人材センターの現状と課題

1. シルバー人材センター事業の現状

(1) 会員の状況

① 会員数

令和5年3月末現在の会員数は、997人（男性598人、女性399人）である。令和4年3月末と比べ、14人の減となっている。

地区別会員数

区分	善通寺	まんのう	琴平	令和5年3月末現在
男	285	225	88	598
女	211	114	74	399
計	496	339	162	997

② 粗入会率

令和5年3月末現在の粗入会率は、4.3%（男性4.8%、女性2.6%）である。香川県平均1.9%と比べ、2.4%上回っている。

令和5年3月31日現在

	総人口（人）			60歳以上人口（人）			高齢化率 （%）	粗入会率 （%）
	男	女	計	男	女	計		
善通寺市	15,138	15,293	30,431	5,108	6,471	11,579	38.1	4.28
まんのう町	8,507	9,005	17,512	3,482	4,326	7,808	44.6	4.34
琴平町	3,935	4,472	8,407	1,665	2,252	3,917	46.6	4.14
合 計	27,580	28,770	56,350	10,255	13,049	23,304	41.4	4.28



(2) 事業実績

① 就業実人員

令和4年度の就業実人員は、864人である。平成30年度に比べ111人の減になっている。

② 就業率

令和4年度の就業率は、86.7%であり、平成30年度に比べ4.8ポイント減少している。

③ 受注金額

令和4年度の受注金額は、617,859千円であり、平成30年度に比べ31,796千円減少している。

全体事業実施状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会員数(人)	1,065	1,069	1,044	1,011	997
就業実人員(人)	975	979	931	887	864
就業率(%)	91.5	91.6	89.2	87.7	86.7
就業延人数(人日)	117,721	121,954	109,476	106,528	107,093
契約件数(件)	8,692	8,473	7,948	8,132	7,998
契約金額(円)	649,656,173	693,151,771	631,918,970	618,137,062	617,859,890

(3) 独自事業

高齢者交流サロン「仲善広場（なかよしひろば）」を平成 21 年度から 23 年度に企画提案事業として実施し、以後、自主事業として継続して実施している。

内容は、広域内介護予防のための 30 人～40 人の参加高齢者を対象に、毎月 2 回ゲームや体操、民謡や切り絵、押し花など多彩なメニューで開催している。

会の運営は、事業全て会員主体で運営しており、昼食には、季節感のある定食を調理・提供している。参加者は実費程度負担している。

(4) 会員交流のための同好会活動

会員相互の交流の場として、里山登山同好会、折り紙同好会、ソーイング・リフォーム同好会、旅行同好会、書道同好会の 5 同好会で約 200 人の会員が参加している。

また、同好会所属会員が、作品や活動状況を市民文化祭やセンター総会などで、展示・販売などを通して入会促進をおこなっている。

(5) 「かがわ地方創生SDGs」登録取組状況

高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しているセンターの取り組みはSDGsと深くつながるものである。

昨今の持続可能な高齢者の生きがいの場の提供と、能力、経験に沿った地域貢献ができる組織として「地域のお役立て」に資する公益法人活動をおこなっている。

(6) 事故発生の状況

① 傷害事故の状況

令和 4 年度の傷害事故は、7件発生している。うち、2件は就業途中での転倒事故である。作業の帰りの不慮の事故とはいえ、事故は一つ間違えば取りかえしにならない事になる。全会員に、なお一層の安全管理を励行し、事故防止の周知を徹底した。

② 損害賠償事故の状況

令和4年度の損害賠償事故は、3件発生している。刈払機の飛び石事故は、安全講習会、実技研修の効果もあり、1件のみにとどまった。また、刈払機のキックバックによる事故1件については、安全適正就業委員会、職員会議においてキックバック発生のメカニズムを含んだ安全実習動画で事故再発防止をおこなった。

事故防止策として、動画による事故防止講習、職員への事故防止のための事案研究など、デジタル機器を使った検討会など再発防止のための講習会の開催をおこなった。



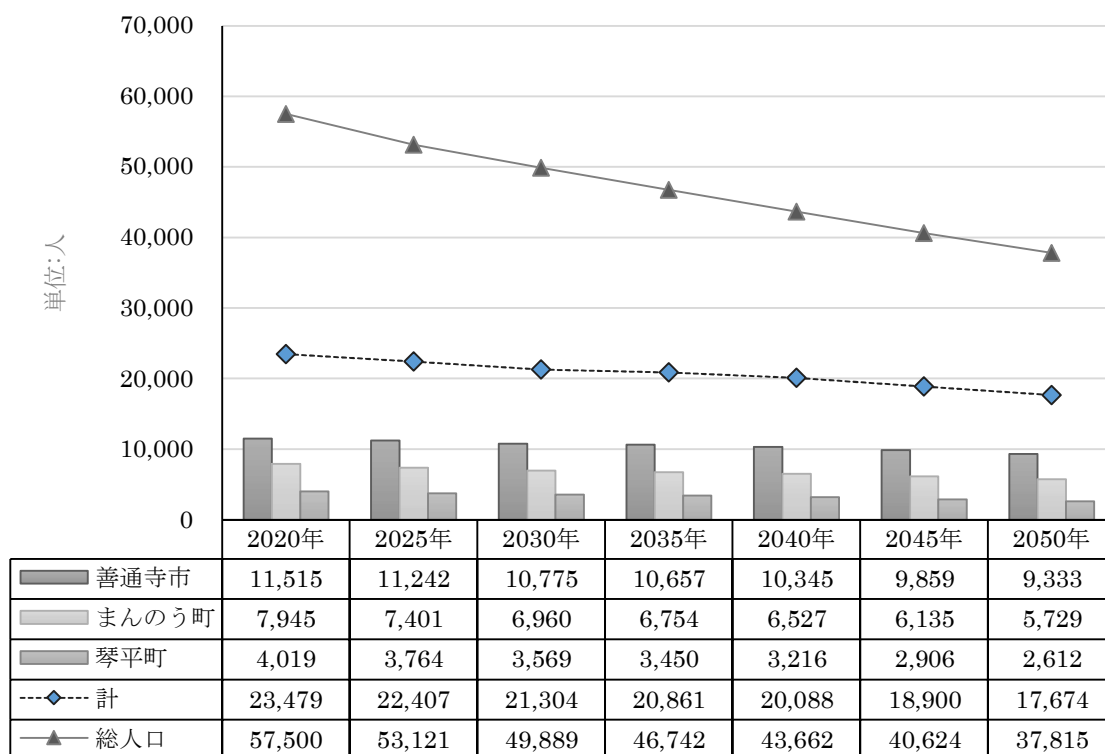
シルバー人材センター事業の課題と実施計画

2. シルバー人材センター事業の課題

(1) 会員の確保・拡大

国立社会保障・人口問題研究所による将来の地域別推計人口によると、2050年の60歳以上人口比率は、善通寺市42.5%、まんのう町51.0%、琴平町56.8%と高齢化比率は高くなり、併せて2020年を100とした人口減少率は、善通寺市69.5%、まんのう町64.6%、琴平町は54.3%まで減少予測されています。

広域 60歳人口



令和2年度からのコロナ禍による長期間の経済状況の低迷からようやく明るい兆しが見えてきた令和5年度に、シルバー人材センターへの人材需要の回復、人が動くことによる需要が回復するなど、徐々に以前の生活に戻りつつあります。

反面、一部業態の雇用情勢の停滞、物価高・円安に起因するインフレ傾向での景気の先行き不安など、本シルバー人材センターを取り巻く環境は必ずしも良い状態ではありません。

広域1市2町の人口減少と高齢化率の増加がこの先急速に進む中、定年制の延長義務化、高齢者への雇用環境の変化が、国の高齢者雇用推進施策の一役を背負うシルバー事業にとっても、大きな転換期を迎えることとなりました。

また、令和5年10月からの「インボイス制度」の導入により、個人事業主であるシルバー会員の消費税納税免除により、シルバー事業運営の根幹にかかわるシルバ

ーセンターによる仕入消費税納税義務が発生し、依頼主には新たな費用負担をお願いしなければ、運営に支障が生じることとなります。

その他、フリーランス法施行後の対応、税制改正による電子帳簿保存法適用体制など、シルバー人材センターを取り巻く情勢は大きく変化しています。

実施計画

- ① 一人一会員の入会声掛け運動によるロコミ宣伝を図ります。
- ② ホームページ・LINE等SMSの発信による会員募集の広報活動のほか、会員、発注者のデジタル化への関与を積極的に推進し、常時双方向のコミュニケーションを図れるような仕組みを構築していきます。
- ③ 同好会活動やボランティア活動、地域活動を通じた地域に根ざした運営を図ります。
- ④ 各センターでの定期的な入会説明会を開催します。
- ⑤ 入会説明会の資料、勧誘動画の上映などを用いてペーパーレス化に積極的に取り組み、デジタル化に向けた検討・実践を行います。
- ⑥ 研修会、講習会の内容を技能訓練から趣味や興味のある内容を織り交ぜ、シルバーセンターの帰属意識を高め、退会抑制を図ります。
- ⑦ 各技能部門に「マイスター制度」を導入し、客観的な会員の経験・能力評価と会員自身の就業意欲の向上に資する新しい評価制度を導入して会員の帰属意識を高める。

(2) 就業機会の確保

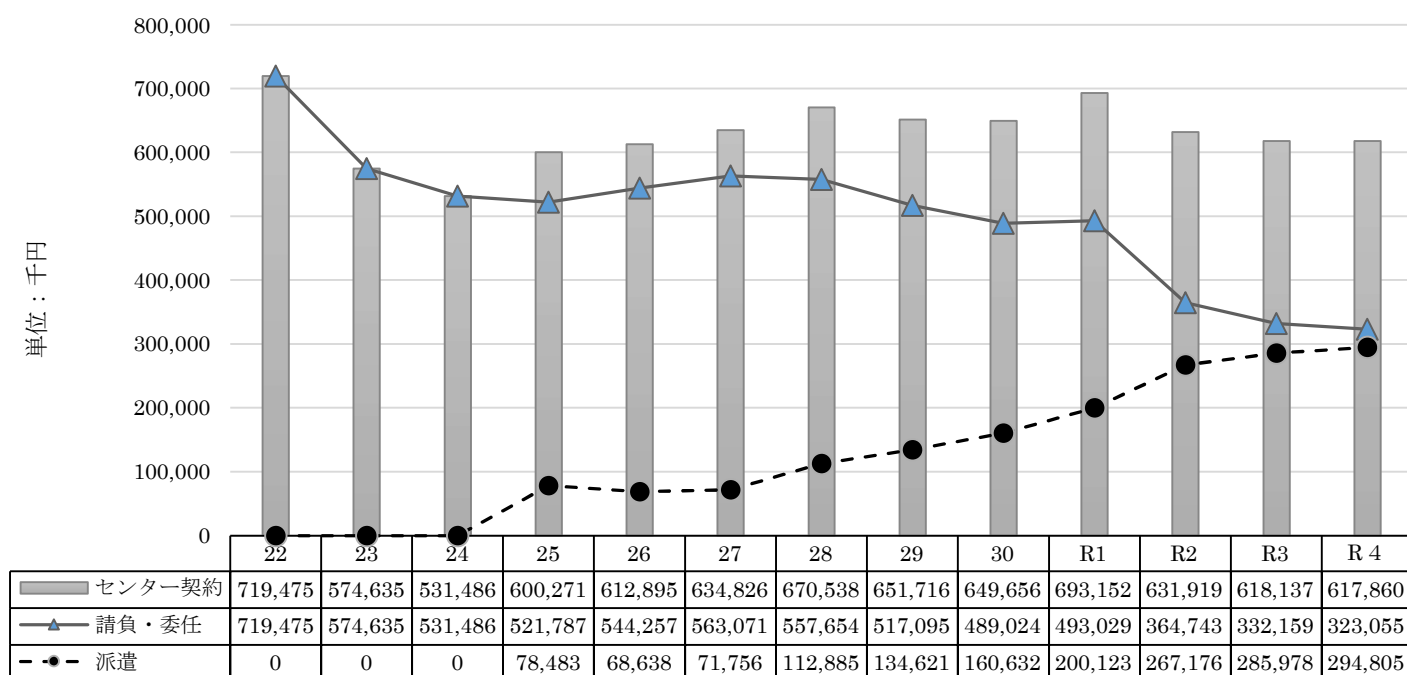
現在、技能経験者の当センター会員の高齢化が大きな問題となっています。具体的には、計画当初平成31年3月における会員の平均年齢は72.8歳、70歳以上会員の占める割合は69.8%であったものが、令和5年3月にはそれぞれ74.3歳、82.2%とわずか5年弱で急激に高齢化が進行しています。これは、高齢者雇用安定法の改正に伴い「継続雇用制度」の運用が普及した結果、会員入会時の年齢が更に上昇したことが大きな原因だと考えられます。今後、企業、事業所での高齢者の雇用は増加し、会員の高齢化は、今まで以上のスピードで進行するものと想定されます。

「臨時的・短期的・軽易な就業」での地域の貢献に資するシルバー会員の就業先の確保が大きな課題となってきます。

また、地域ニーズに合った人材の確保や育成が必要であり、職種がホワイトカラーの希望者、前職歴、を適時に把握することが重要であり、依頼主への就業開拓にも改善の必要が生じてきます。

これからは、それらに伴う適正就業の観点、財政運営面からもシルバー派遣事業・職業紹介事業の推進が喫緊の課題となっています。

年度別 【請負・委任】 【派遣】 契約推移



実施計画

- ① 地元自治体と連携し、企業・事業所等訪問を行い、就業先のニーズの把握をおこないます。
- ② 高齢会員の就業可能な分野及び団塊世代が魅力を感じる分野の開拓を図ります。
- ③ 新旧受注業務にかかわらず、シルバー派遣事業への移行、季節的な業務の職業紹介事業など雇用形態の見直しで、会員ニーズの高い就業形態を推進します。
- ④ 個別面談や顧客・会員のデータベースを活用し、就業ミスマッチの解消に努めます。
- ⑤ 会員情報をホームページ、チラシ等で紹介し、SNSの活用などデジタル化を推進します。
- ⑥ 公共団体・地域づくり協議会等からの高齢者の生きがい創出施策の一環として、受注拡大を図ります。
- ⑦ 会員の経験・技能を発注者に分かりやすい形で提示できる「マイスター制度」を導入。提供サービスの品質を見える化することで、需要の拡大を図ります。

(3) 安全・適正就業の確保

会員が安全に就業することは、何にも増して優先すべき事項です。

センターでは「事故ゼロ」を目指し、啓発や周知の徹底を図り安全就業に努めていますが、現状は毎年数件の傷害事故・賠償事故が発生しています。

特に、高齢に伴う身体や判断力の低下による賠償事故や傷害事故が多くなっており、軽度の事故が大きな賠償事故になったり、やがて慣れによる軽率な判断が積み重なって、重篤事故につながるものが懸念されます。

公益社団法人であるシルバー人材センターにとっては、コンプライアンス（法令遵守）は極めて重要です。高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、さらなる法律の遵守が必要となっています。

実施計画

- ① 安全・適正就業委員会の組織的な取り組み強化により、再発防止策の検討と啓発・指導活動を推進します。
- ② 会員の事故発生状況と検証事案を適時検証し、会員周知により事故減少に向けた安全意識の高揚を図ります。
- ③ 安全パトロール等の取り組み強化と安全保護具の着用の徹底等による安全対策を推進します。
- ④ 請負・委任契約になじまない就業や不適切な就業について、発注者への理解を求めながらシルバー派遣事業・職業紹介事業への切り替えを推進します。
- ⑤ 長期継続就業会員の交替について、適正就業基準を遵守するとともにワークシェアリングに取り組み、就業機会の均等化を図っていきます。
- ⑥ 未就業会員については、個々会員の事情を十分把握したうえ、状況に適した就業先を紹介します。



(4) 普及啓発の推進

シルバー人材センターへの理解と支援を得るためには、市民や顧客の方々に当センター“そのもの”を知ってもらうことが肝要です。

そのために、ホームページなどのデジタル化に特化した情報発信を頻繁におこない、遠隔参加による各種会合への積極的な参加による他団体の取り組みなどの知識の取得をはじめ、住民向けにはパンフレット等の配布、地域開催の各種イベントへの参加、シルバー普及啓発月間(10月)や福祉・家事援助月間(1月)におけるボランティア活動、会報『仲善シルバーだより』の年2回発行等、シルバー事業の普及啓発をすすめなければなりません。

実施計画

- ① 構成1市2町や各団体が主催するイベントに積極的に参加し、PRに努めます。
- ② 市町広報・地域情報誌を活用し、住民の皆様へ情報発信を行うとともに、チラシ等により各事業所への情報発信を行います。
- ③ デジタル環境を整え、会員所有のスマホの普及を活用して、ホームページ、SNSを通じて動きのある最新のシルバー情報を発信します。
- ④ 各種イベントやボランティア活動、会員の口コミなどを通じてさらなる普及啓発活動を強化します。

琴平町 窓口封筒広告デザイン_A4



琴平町 窓口封筒広告デザイン_A5



シルバー会員募集広告(琴平町役場窓口封筒)

(5) 高齢者支援事業の推進（SDGsの取組）

急激に進む少子高齢化により、高齢者世帯や夫婦共働き世帯が増加する中、福祉・家事援助サービス事業や育児サービスの需要が増大しています。

現在、女性シルバー会員が30名程度の地域のお年寄りの生活を支える高齢者交流事業「仲善広場(なかよしひろば)」を月2回実施しているほか、会員相互の交流の場として、里山登山同好会、折り紙同好会、ソーイング・リフォーム同好会、旅行同好会、書道同好会の5同好会に大勢の会員が参加しています。

同好会活動での作品や活動状況を市民文化祭やセンター総会などで展示・販売して、地域住民にもPRしています。

シルバーセンターの取り組みは、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している取り組みはSDGsと深くつながるものです。

具体的には、①地域の公園等の清掃奉仕活動、②経験と伝統文化継承を生かした独自事業の実施(洋服の直しなど)、③女性の積極的な社会参加を促進するための入会促進と、女性顧問弁護士によるハラスメントなどの即時対応、④剪定、草刈、不用品回収などにおける分別廃棄処理、従事者が環境に配慮した知識を習得し、環境保護事業への積極的参画など、昨今の持続可能な高齢者の生きがいの場の提供と、能力、経験に沿った地域貢献ができる組織として「地域のお役立て」に資する公益法人活動をおこなっています。

令和4年8月29日「かがわ地方創生SDGs登録事業者」として登録されました。

実施計画

- ① 福祉・家事援助サービス事業の就業会員の確保と育成に努めます。
- ② [女性力]を発揮したきめ細やかで親切なサービス提供に努め、事業拡大を目指します。
- ③ 趣味を通じて集う同好会活動、ボランティア活動の継続、発展により、地域にシルバー事業をPRします。
- ④ SDGsの取り組みを通じ、経験豊かな高齢者である会員の社会参加と生きがいの充実を実践し、就業に際しては、高齢者や女性であることでの社会的なハラスメントを抑止できる体制づくりに努めます。

（６）事務局体制の充実・強化

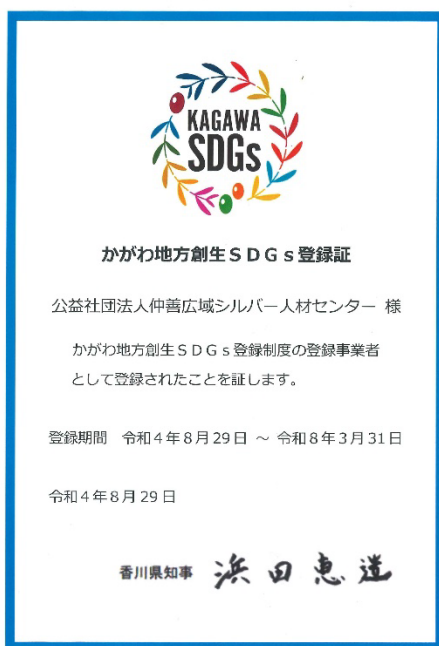
事務局はセンターの事務部門を総括し、構成自治体３ヵ所の各センターの組織活動を円滑に運営するために、財政運営や事務処理、法人管理、就業需給調整、各事業の管理、会計処理など多岐にわたる業務を行っています。

広域事務局の立場からの会員との調整や会員活動への支援についても大きな役割を果たしており、今後、「フリーランス法の施行」、「インボイス制度」や、「改正電子帳簿保存法」などデジタル化の整備が事務改善の緊急課題となっています。

制度改正に伴い、事務量が増大・多様化・複雑化する中で、デジタル化を推進し、事務処理の簡素効率化と職員の資質の向上など事務局体制の整備を図ります。

実施計画

- ① デジタル化の職員研修や月１回の職員会議等にも遠隔参加型の機材を導入して職員の資質の向上に努めます。
- ② 会員への的確な情報発信に努め、会員と事務局との円滑な関係の構築を図ります。
- ③ 構成１市２町の各センターの業務体制の均衡化を図り、同じサービス水準で、明るく開かれた事務局体制を目指します。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

3 今、わたしたちにできること

仲善広域シルバー人材センターの事業と紐づく SDGsの目標

SC の事業	紐づく SDG s の目標	SC の事業	紐づく SDG s の目標
就労を通して、高齢者の健康と生きがいの向上及び豊かな暮らしの実現	  	共同して社会参加により、地域の福祉の増進と発展に寄与	  
年齢、性別、心身の状況、ライフスタイル等に応じた多様な職業機会の提供		高齢者の経験、能力を活かした教育や福祉事業への貢献	 
地域の美化活動への取組 (清掃ボランティア活動)		公園、道路、河川等インフラ管理の手伝い	 
行政や社会福祉協議会等と連携した高齢者や子育て世代の生活支援	 	看護学生実習受入や伝統技術の伝承(洋服の仕立直し等)	
人手不足企業等へのシルバー派遣	 	就業スキルアップのための講習会等の実施	
洋服・生地のリサイクルやリユース作品の販売		幼稚園・保育所でのおむつの回収と処理	  
女性会員の積極的な就業促進と会員増強	 	ふれあい個別収集、焼却ゴミ回収、資源ごみ分別処理の支援業務	  



III 參考資料

仲善広域シルバー人材センター各市町総人口推移

国立社会保障・人口問題研究所 令和5年（2023）推計

60歳以上人口動態			(単位 人口：人 指数：%)					
地 域	2020年		2025年		2030年		2035年	
	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数
善通寺市	11,515	100	11,242	97.6	10,775	93.6	10,657	92.5
琴平町	4,019	100	3,764	93.7	3,569	88.8	3,450	85.8
まんのう町	7,945	100	7,401	93.2	6,960	87.6	6,754	85.0
合 計	23,479	100	22,407	95.4	21,304	90.7	20,861	88.8

地域	2040年		2045年		2050年	
	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数	60歳以上人口	指数
善通寺市	10,345	89.8	9,859	85.6	9,333	81.1
琴平町	3,216	80.0	2,906	72.3	2,612	65.0
まんのう町	6,527	82.2	6,135	77.2	5,729	72.1
合 計	20,088	85.6	18,900	80.5	17,674	75.3

全体人口推移		(単位 人口：人 指数：%)						
地域	2020年		2025年		2030年		2035年	
	人口	指数	人口	指数	人口	指数	人口	指数
善通寺市	31,631	100	29,419	93.0	27,914	88.2	26,391	83.4
琴平町	8,468	100	7,747	91.5	7,053	83.3	6,391	75.5
まんのう町	17,401	100	15,955	91.7	14,922	85.8	13,960	80.2
合 計	57,500	100	53,121	92.4	49,889	86.8	46,742	81.3

地域	2040年		2045年		2050年	
	人口	指数	人口	指数	人口	指数
善通寺市	24,863	78.6	23,376	73.9	21,981	69.5
琴平町	5,769	68.1	5,153	60.9	4,597	54.3
まんのう町	13,030	74.9	12,095	69.5	11,237	64.6
合 計	43,662	75.9	40,624	70.7	37,815	65.8



仲善広域シルバー人材センター各市町60歳・65歳以上人口比推移

国立社会保障・人口問題研究所 令和5年（2023）推計

60歳以上人口比	(単位：％)			
地域	2020年	2025年	2030年	2035年
善通寺市	36.4	41.6	38.6	40.4
琴平町	47.5	48.6	50.8	54.0
まんのう町	45.7	46.4	46.6	48.4

地域	2040年	2045年	2050年
善通寺市	41.6	42.2	42.5
琴平町	55.8	56.4	56.8
まんのう町	50.1	50.7	51.0

65歳以上人口比率	(単位：％)			
地域	2020年	2025年	2030年	2035年
善通寺市	30.7	32.5	33.0	33.1
琴平町	41.2	42.4	43.4	45.3
まんのう町	38.2	40.4	40.6	40.7

地域	2040年	2045年	2050年
善通寺市	34.7	35.7	36.5
琴平町	48.3	49.9	50.7
まんのう町	42.1	43.4	45.3



仲善広域シルバー人材センター各市町60歳以上地区別5歳ごと人口推移

国立社会保障・人口問題研究所 令和5年（2023）推計

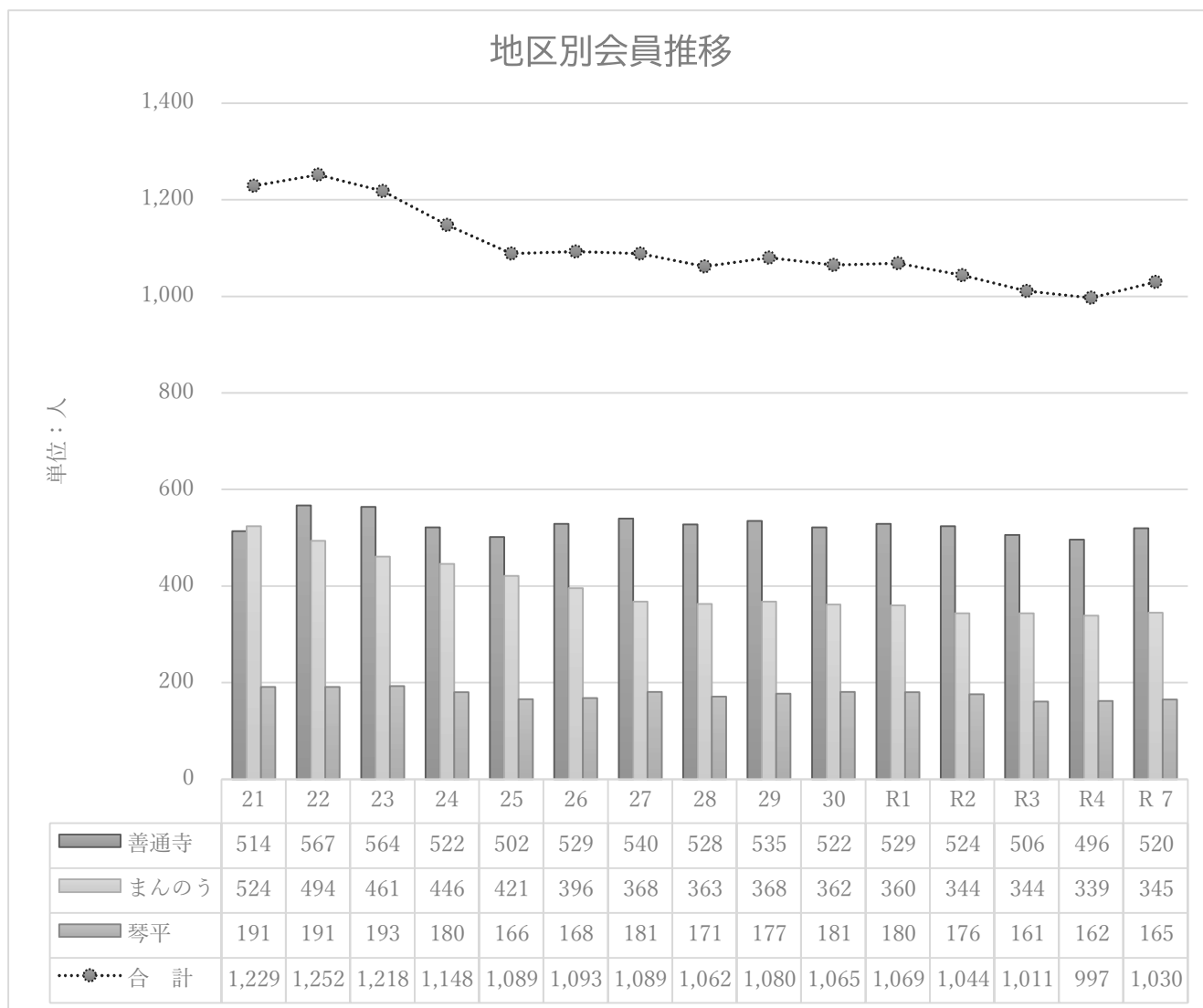
善通寺市	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
60～64歳	1,791	1,694	1,569	1,916	1,716	1,503	1,318
65～69歳	2,138	1,687	1,630	1,512	1,850	1,660	1,455
70～74歳	2,591	2,042	1,603	1,550	1,443	1,770	1,590
75～79歳	1,713	2,343	1,869	1,480	1,434	1,337	1,643
80～84歳	1,471	1,460	2,014	1,612	1,292	1,255	1,176
85～89歳	1,083	1,141	1,118	1,581	1,269	1,037	1,015
90歳以上	728	875	972	1,006	1,341	1,297	1,136
60歳以上人口	11,515	11,242	10,775	10,657	10,345	9,859	9,333
人口総数	31,631	29,419	27,914	26,391	24,863	23,376	21,981

琴平町	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
60～64歳	534	483	525	557	432	336	283
65～69歳	664	520	471	512	545	423	330
70～74歳	889	634	499	452	492	526	410
75～79歳	622	816	587	464	421	459	491
80～84歳	562	521	709	509	407	369	406
85～89歳	438	416	404	562	403	329	298
90歳以上	310	374	374	394	516	464	394
60歳以上人口	4,019	3,764	3,569	3,450	3,216	2,906	2,612
人口総数	8,468	7,747	7,053	6,391	5,769	5,153	4,597

まんのう町	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
60～64歳	1,291	961	899	1,079	1,046	887	787
65～69歳	1,469	1,266	931	874	1,051	1,021	867
70～74歳	1,652	1,394	1,206	889	837	1,009	982
75～79歳	992	1,499	1,288	1,118	831	784	949
80～84歳	996	824	1,317	1,140	996	746	707
85～89歳	859	750	631	1,037	901	797	603
90歳以上	686	707	688	617	865	891	834
60歳以上人口	7,945	7,401	6,960	6,754	6,527	6,135	5,729
人口総数	17,401	15,955	14,922	13,960	13,030	12,095	11,237

75歳以上人口（人）							
年 市町	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
善通寺市	4,995	5,819	5,973	5,679	5,336	4,926	4,970
琴平町	1,932	2,127	2,074	1,929	1,747	1,621	1,589
まんのう町	3,533	3,780	3,924	3,912	3,593	3,218	3,093

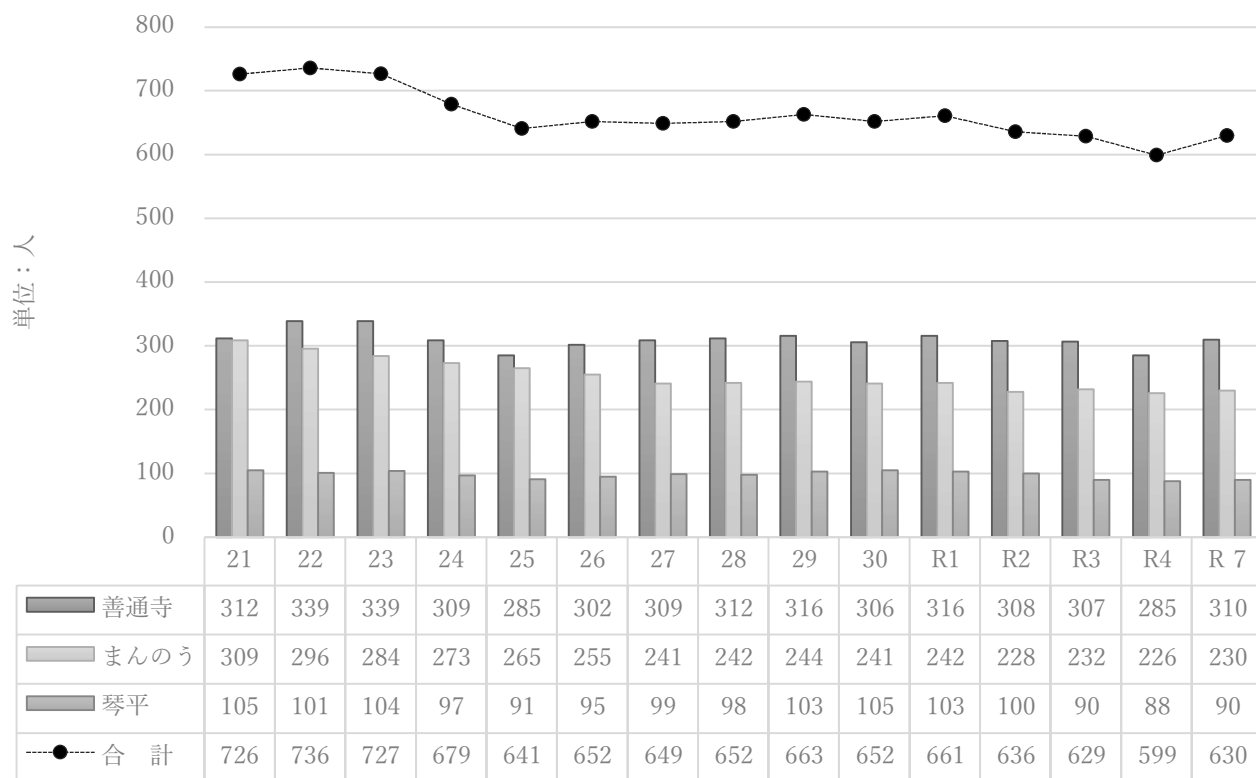
仲善広域シルバー人材センター地区別会員数推移(平成21年～令和4年(実績)・令和7年目標値)



(R7 は目標数値)

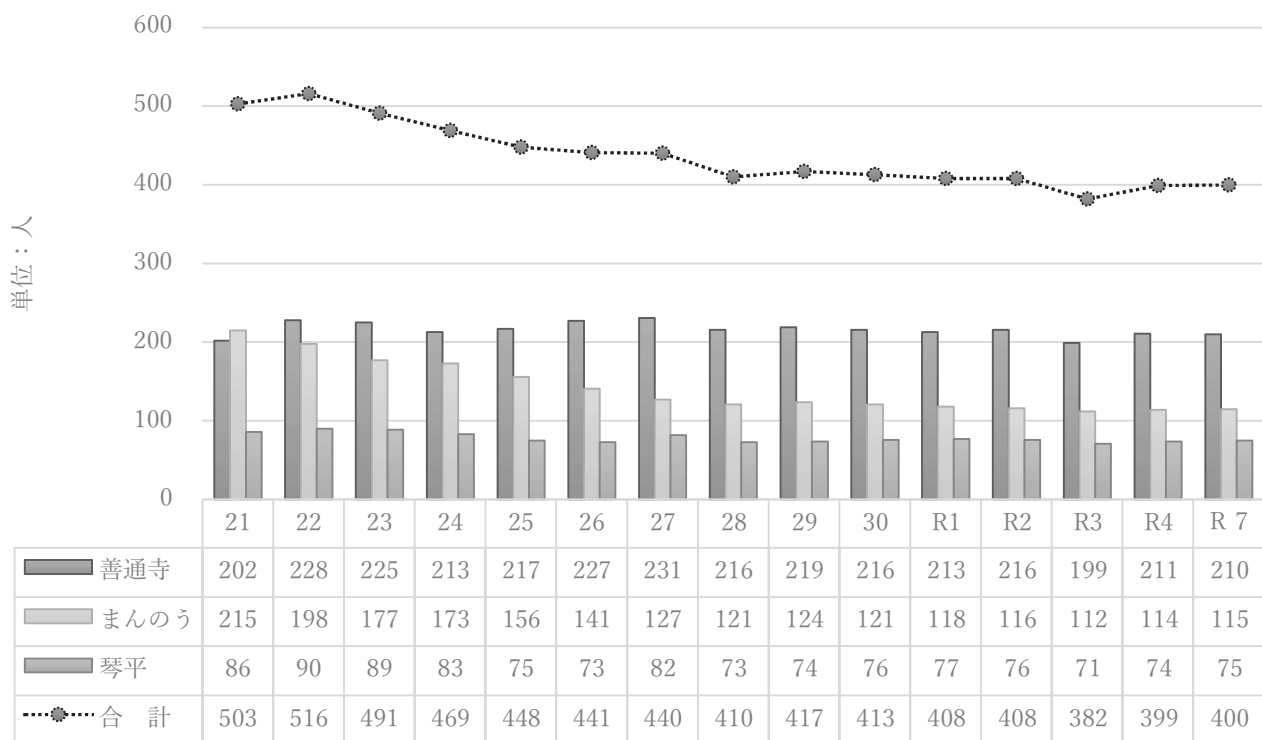


地区SC別男性会員推移



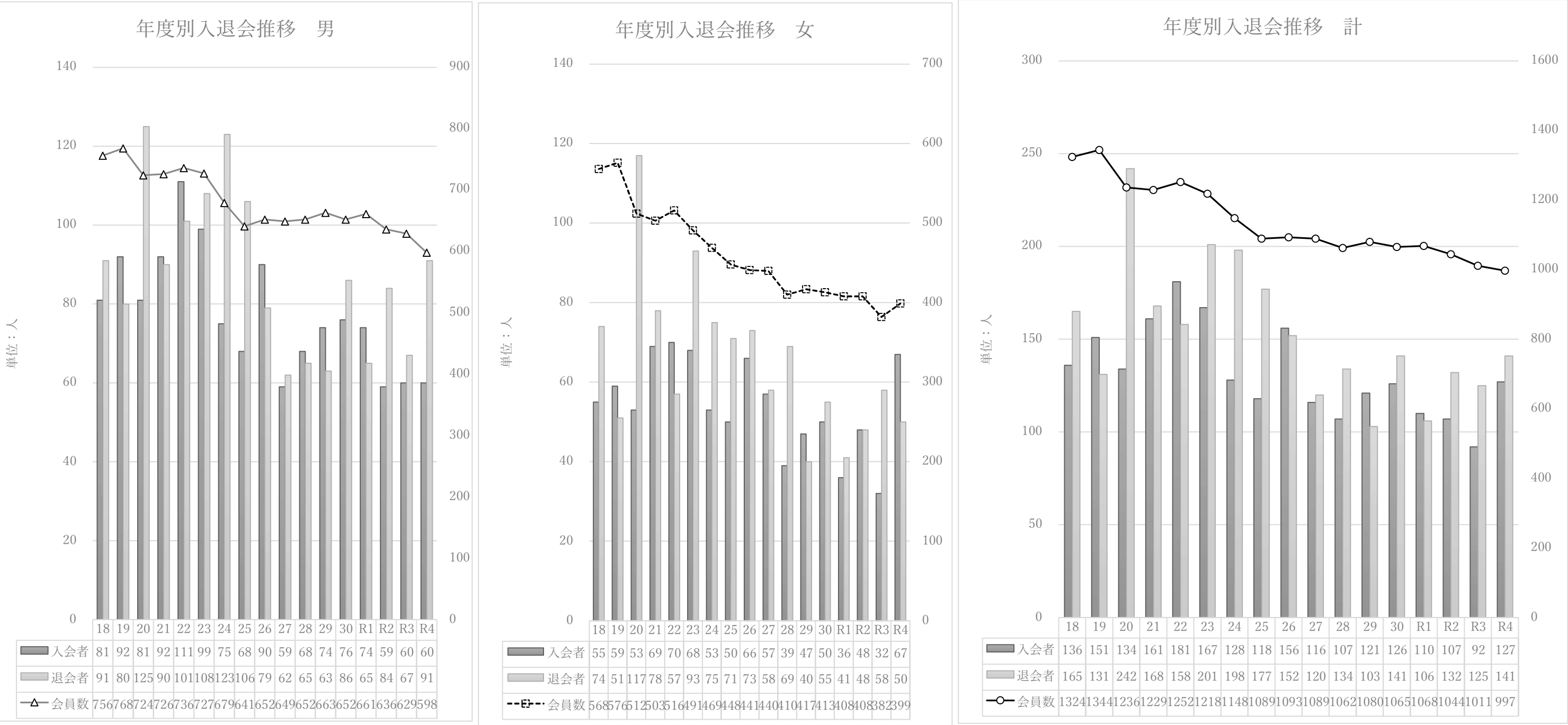
(R7 は目標数値)

地区SC別女性会員推移

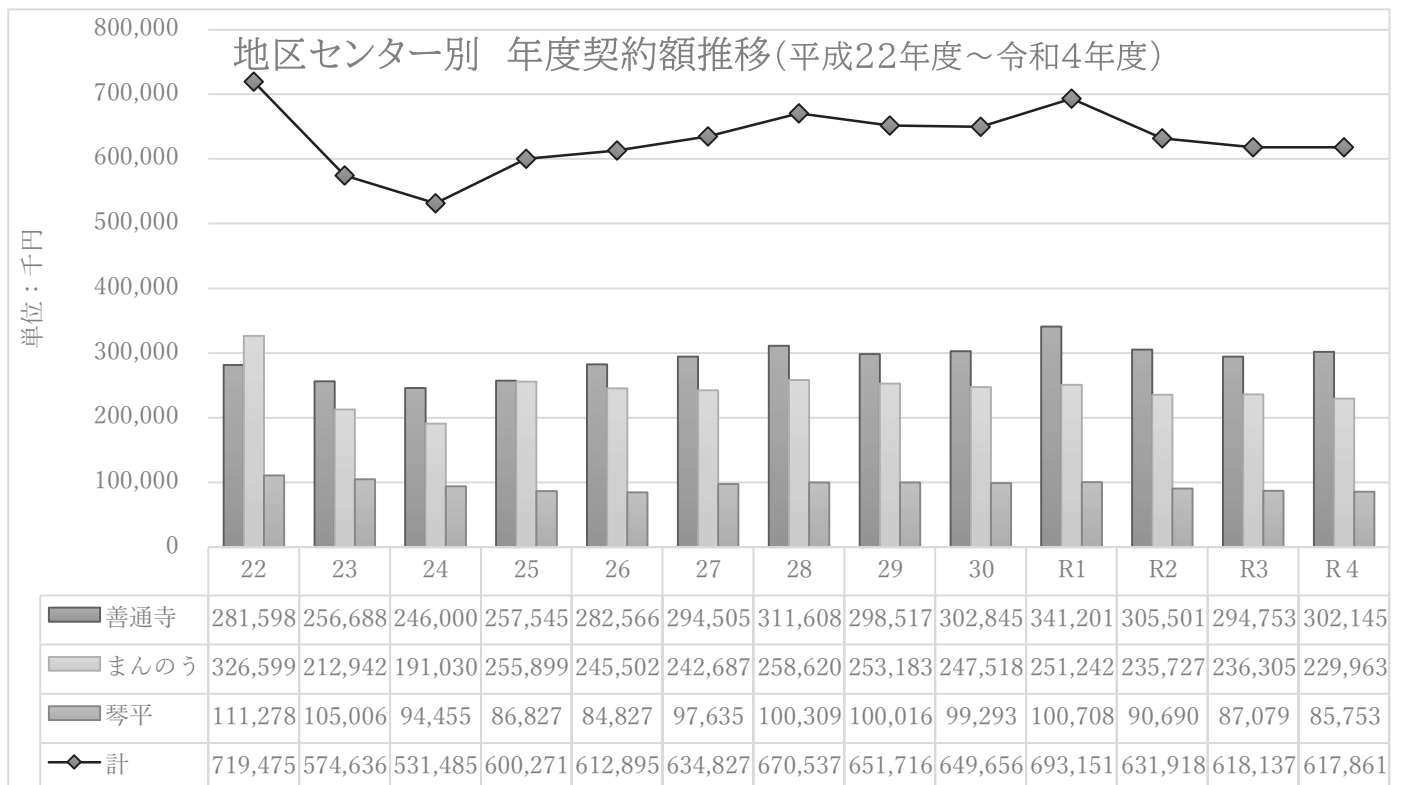
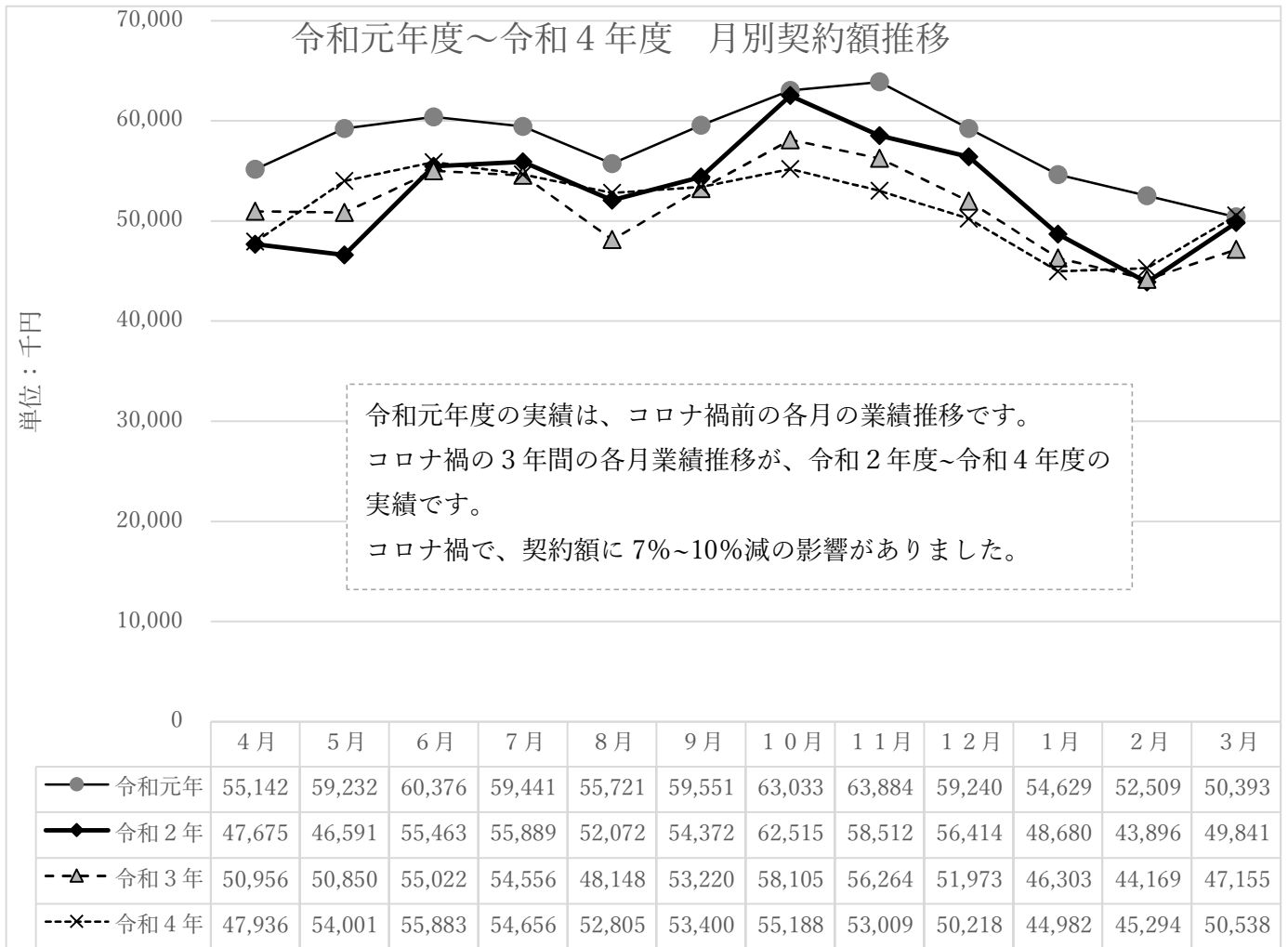


(R7 は目標数値)

仲善広域シルバー人材センター年度別入退会者推移(男女別)



年度別事業実績推移



事故発生状況

傷害事故

※ 死亡事故

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
発生件数		10	11	5	11	7	6	7	4	3	7
性別	男	10	6	4	7	7	5	4	2	2	4
	女	0	5	1	4	0	1	3	2	1	3
就業中		8	9	3	10	6	4	7	2	3	5
途上		2	2	2	1	※1	2	0	2	0	2
死亡/重篤 再掲		0	0	0	0	※1	0	0	0	0	0

賠償責任事故

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
発生件数		2	6	8	7	5	5	5	12	9	3
仕 事 の 種 類	①	2	2	3	3	4	2	2	9	6	2
	②						1				
	③		1	1	2		1	1	1	3	1
	④		1					2	2		
	⑤		1	2	1						
	⑥							1			
	⑦						1				
	⑧		1	2	1	1					
保険金額 単位:円		74,700	526,148	1,243,306	345,838	255,705	2,002,269	134,632	1,012,906	675,521	2,617,175

① 草刈 ② 農作業 ③ 剪定 ④ 片付け ⑤ 車両運転 ⑥ 調理 ⑦ 清掃 ⑧ その他

公益社団法人 仲善広域シルバー人材センター

中長期計画 後期 5 カ年計画 策定各委員会委員の方々

女性会員活動委員会役員

酒井 恵美子
齋藤 文代
秋山 洋子
井上 春美
千葉 厚子
末久 廣子
西村 五十鈴
香川 敏子
坂本 満壽美
齋藤 明美
上野 久美子

シルバー事業推進委員会委員

稲毛 俊正
毛利 正美
土井 壽美子
岩井 始
大西 久男
山下 喜義
川田 富士子
宮武 俊雄
長原 秀男

安全・適正就業委員会委員

神原 利夫
堀尾 陽子
杉田 誠
野口 謹叶
小井手 伸子
川口 勝
堀家 宗俊
佐々木 仁
山田 宏明
細川 和徳

